

各位

2022年6月10日

会社名 株式会社テンポスホールディングス
代表者名 代表取締役 森下 篤史
(コード番号: 2751 東証スタンダード)
問合せ先 取締役グループ管理部長 森下 和光
TEL 03-3736-0319 (代表)

(再訂正) 「2021年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年7月8日に開示いたしました「(訂正・数値データ訂正) 2021年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

2022年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)の作成過程において、記載の一部に誤りがあることが判明しましたので、提出済みの決算短信の訂正を行うものであります。なお、今回の訂正による損益への影響はございません。

2. 訂正の箇所

3. 連結財務諸表及び主な注記

(2) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)
【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計		
減損損失	—	38	997	1,036	—	1,036

(訂正後)

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計		
減損損失	—	38	1,022	1,060	—	1,060

【のれんの金額の重要な変動】

(訂正前)

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

該当事項はありません。

(訂正後)

当連結会計年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

当連結期間内において、連結子会社である株式会社ディースパークについて、株式取得時に想定していた収益性が見込めなくなったため、「情報・サービス事業」のセグメントにおいて未償却残高38百万円を減損損失として計上しております。

連結子会社である株式会社竹若について、株式取得時に想定していた収益性が見込めなくなったため、「飲食事業」のセグメントにおいて未償却残高471百万円を減損損失として計上しております。

以上